

2024 年春季生活闘争中央討論集会

「賃上げの環境整備整った」

労務費の適切な転嫁に向けて価格交渉を



賃上げに向けて、団結しガンバロー！

JAM は、12 月 3 日-4 日両日、静岡県・ホテルグランヒルズ静岡で 2024 年春季生活闘争方針大綱を議論する中央討論集会を開催した。

JAM 安河内賢弘会長は、「原材料価格やエネルギーコストのみならず、賃上げ原資の確保を含めて、適切な価格転嫁による適正な価格設定をサプライヤーチェーン全体で定着させる。物価に負けない賃上げを行い、デフレ脱却、経済の好循環実現のためにも、労務費の適切な転嫁が必要だ」と力強く挨拶をした。

政府が 11 月 29 日に内閣府と公正取引委員会の連名で「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」を公表したことも、取引環境整備のための賃上げの後押しになると期待されている。JAM も、中小労組が粘り強い交渉や取引価格転嫁の取り組みがしやすくなるような環境整備の一つとして、来年 2 月に国会議員に価格転嫁を訴えるための院内集会を予定している。

全国から参集した 342 人の参加者は、1 日目

は全体会、2 日目は 4 分散会に分かれ、基本給の底上げをするベースアップ（ベア）で月額 1 万 2000 円以上を基準、定期昇給分を含めた賃上げ総額 1 万 6500 円以上要求への意見・要望を討議した。

春闘方針決定は 2024 年 1 月

春闘方針大綱を受け、今後は地方 JAM を中心として討議。2024 年 1 月 19 日第 43 回中央委員会で方針を決定する。



2 日目 4 分散会に分かれて討議
(第 1 分散会会場)